

2011年1月

図書館 まなびトーク

学人ニュース

図書館を利用して行った生涯学習の発表会

平成22年度第6回

図書館 まなびトーク

西部図書館では、11月26日（金）に10名の参加をいただき、第6回図書館まなびトークを開催しました。

今回は、国民読書年を記念し、これまで開催した計5回の総括として、座談会「私の『図書館まなびトーク』～発表後の状況～」と題して、今までの発表者＝学人（まなびと）の方に、発表に応募したきっかけや、発表後の研究状況などをお話いただきました。

<座談会にて発表いただいた9名の皆さん>

* 「 」内は以前の発表テーマです。詳細は、各回の「学人ニュース」及び『「図書館まなびトーク」実践報告書』をご覧ください。

第1回 学人 湯沢 幾男さん

「日本の「風土」を考える～二つの「風土論」から学んだこと～」

第1回 学人 阿部 幸次さん

「樺太アイヌの歴史と山辺安之助の『あいぬ物語』」

第2回 学人 細井 滋さん

「良寛和尚の足跡」

第2回 学人 岡戸 大国さん

「世界における日本の使命（役割）」

第3回 学人 末満 宗治さん

「無いものを図書館で探す」

第3回 学人 三沢 博志さん

「調べることはおもしろい…～自然誌関係文献目録編集の経験から～」

第4回 学人 佐久間 直次さん

「豊富な史料を利用して学習～天文と古代人の関わり～」

第4回 学人 中條 藏實さん

「図書館を書斎に！読書会100回余とポストモダン」

第5回 学人 岩淵 梧郎さん

「ホーキングの「時間順序仮説」を読んで考えさせられるもの」

「図書館 まなびトーク」とは…図書館で学ぶ人たち（学人＝まなびと）の学習体験の発表、交流（＝トーク）の場として、また日常の生涯学習の場として図書館をもっと活用していただきたいという思いから名づけました。



▼参加者の声

（アンケートのご意見から）

◎大変参考になりました。諸先輩の方の実のある生き方（退職後の）に触れて勉強になりました。図書館がこうした企画をすることは利用者（特に退職後の）への指針を与えてくれることであり、有益な企画だと思います。（松戸市 67歳）

◎大変尊い目標・理念を基に発展を期待され本会の継続を願うものであります。「図書を学ぶ時代」から「図書に学び、自己実現を図る時代」に変革して来て、身近に親しむことができる、自由で気楽な雰囲気が大切ではなからうかと思えます（生きがい造りです。）今後は自己実現を図る為に、この様に図書館を利用した経験談を発表してほしいです。（松戸市 68歳）

・学人の方々の図書館利用の深さに感じ入りました。今後も発表を続けてくださるようお願いしております。（松戸市 70歳）

座談会「私の『図書館まなびトーク』～発表後の状況～」

主な内容をご紹介します

発表に応募したきっかけは？

- ・西部図書館で読んだ本や調べたことについて、月1回の定例会で発表し、意見交換を実施する「読書交遊会」を、図書館で出会った仲間と開催していたので、これまで研究していたことを発表しました。
- ・興味があって調べていた分野に関する本を図書館で見つけ、すばらしい資料に出会った発見と、調べた内容を紹介したいと思いました。
- ・地方誌に論文を発表している関係で、図書館で調べることがあり、発表しました。
- ・図書館まなびトークの趣旨の「図書館の活性化」について賛同したので発表しました。
- ・定年退職後、通信制の大学に入り、図書館を使ってレポート作成をしていたので、その内容を発表しました。
- ・定年後、自分史を書くため図書館に通ううちに、知合いができ、「読書交遊会」を作ったことがきっかけです。

発表後の研究状況は？

- ・読書交遊会で、「やぶにらみの経済入門」と題し、実感的地域再生論、現代日本の「貧困」を考えるなどのテーマで報告しました。人間同士のつながりや、自然と人間の関係を、未来社会に向けて構築し直すということについて、考えているところです。
- ・発表後に、発表時には取り上げなかった良い本を見つけました。『南極に立った樺太アイヌ』（佐藤忠悦 東洋書店）という、山辺安之助が参加した白瀬南極探検隊の本です。白瀬南極探検隊の公式記録としては、『南極記』（南極探検後援会）があります。
- ・詩吟や漢詩への興味から、大町桂月に関心を持って、この図書館にある、大町桂月の紀行文『東京遊行記』（大空社）を読んでいるところです。
- ・トリウム実現のため活動をしている関係で、「エネルギーレビュー」という雑誌を時々この図書館で読んでいますが、先日も発行人の方にお会いしていろいろな案件を伺いました。そのきっかけを得たのは、図書館でこの雑誌に出会ったことで、そのおかげで非常に中身の濃い展開ができていると思っています。
- ・地方誌「松戸史談」に、「関東そして松戸・人と水の歴史」について発表しました。
- ・千葉県内の動物や植物を主題にした本の目録を作成中です。現在、博物館の図書室と個人文庫の所蔵資料から補充調査をしています。

- ・天文と古代人について、日蝕に絞り込んで卒論のために研究しています。古代人がどのように日蝕を恐れたのかを今後まとめたいと思っています。
- ・読書交遊会で、『金子勝の食から立て直す旅』を読んで、「ケインズ経済学と経済のグローバル化」のテーマで報告しました。
- ・脳の進化について興味を持ち、図書館で『脳研究の最前線』（講談社）などの本を読み、「地球生命の階梯的進化観からの脱却」のテーマで読書交遊会で報告したところです。

その他の感想・ご意見

- ・発表のために、レジュメを作成しますと、もう一度見直すという機会になり、大変勉強になりました。
- ・生涯学習については、「学ぶということは自分に対する投資である」と感じており、生きているかぎり勉強の道に自分を置こうと思っています。西部図書館には現在25万冊もありますので、学ぶ機会はいくらでもあると思いますから、このまなびトークで発表される方が、さらに続くということを願っています。
- ・資料がなかなか見つからなくて苦労することがありました。特に地域に関する資料は、その地域の公共図書館で積極的に集めて、きちんと所蔵してほしいと思います。
- ・いろいろと調べて、ものを書き上げるということは、問題意識や情熱、体力が非常に必要ですが、それぞれの立場で、生涯学習を行っている仲間がいることで、大変励まされます。

図書館まなびトーク発表者募集

あなたも

図書館で学習した体験を発表してみませんか

当館を利用して生涯学習を行っている個人やグループで、その学習体験を発表してくださる方を募集しています。

*発表時間は30分程度。事前にA4判1～2ページの発表要旨を作ってください。

詳しくはカウンターにお問い合わせください。

図書館 まなびトーク 学人(まなびと) ニュース
平成23年1月18日発行 千葉県立西部図書館編集
〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀 657-7
TEL047-385-4133
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>